日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0238-0239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH 1.00
SINGLE COPIES ..... 3 CENTS

CALIFORNIA STATE LIBRARY

日米

明瞭なる吾が主張

〔1〕

若槻全權のシャトルに於ける第一聲、及び財部全權のヴ井々トヤに於ける談話は、吾が國代表が、來るべきロンドンの軍縮會議に於て、主張すべき大綱を遺憾なく表明してゐることを思ふ。即ち若槻全權は、左の諸點を單明にしてゐる。

一、日本はフヴバー、マクドナルドの潜航艇廢止には反對する。海水艇は防御的にのみ使ひられるからであるが、然し、他國よりも、進に低率な制限に賛成を吝まぬものである。

二、補助艦については、巡洋艦驅逐艦及び潜航艇等に亘つて吾日本は、英米兩國に對して七割比率を主張する。

三、華府會議で協定した戰鬪艦及び巡洋戰艦の比率たる五五三に對しては、これが再議を求むるものでない。

といひ、更に民政黨がふりかざしてゐる緊縮政策からも軍縮の徹底は必要であるとて、内政的立場から軍縮問題を論じ、記者團の質問たる黄白人種戰の如き考へ得べきことではないといひフヴバーの食糧船案には、非常に於いて賛成だが、實行難の點を指摘してゐる。

〔2〕

一方財部全權の談話は、昨日本紙一面に所報の如く。

一、日本は英米の十に對し七を主張し、防備の最少限度ならも他國を攻撃せぬ軍備の達成が軍縮の目的である三、潜水國は弱少國の防衛的武器であり、海軍力の差異が世界に存する限り、劣勢海軍國は、これを補ふため潜水艇の保有は當然であるといふ點に要約し得るのであつて、兩全權の聲明なり談話なりを詳細に吟味して見ると、吾が日本の軍縮に對する、一貫した主張が窺はれる譯である。

〔3〕

吾が日本的主張は、何といつても、補助艦比率の英米に對して十對七の點と、潜水艇の全廢反對とであるが、まづ比率問題について見ると、その内容は、極めて複雑である。例へば、英米間の巡洋艦の比率のごとき、かつて本欄に於て論じた通り、噸トン數において英國が勝り、八吋砲塔載の一萬トン級巡洋艦の優勢に於て、米國優勢といふ側當であるから、その間複雑なる「海軍力の尺度」を以て、兩國の妥協成立を見るに至つたのであるが、吾が日本の十對七の主張も、一萬トン級とそれ以下のもの、および備砲間題に於て巡洋艦七割主張は、多少の屈伸性は免れ難きものがあらうと思ふ。

〔4〕

更に潜水艇問題では、補助艦比率のごとく吾が日本のみが孤軍奮鬪するのではなく、佛國保護の表と共同戰線を張り得るであらう。既にイタリーは潜水艇廢止を利用して、帝國の立場を有利に決して佛國はこれに賛成すると、潜水艇問題が何といつても會議の中心となるであらうと思ふ。

しなくてはならぬ立場にあるといへやう。それだけ、全權の手腕を要する處大である。

吾が主張

両全權沙港の獅子吼

日本の立場を說き得て餘蘊なし

沙港日本協會での演說大要

本社特約電通合同電報

〔シャートル十二日清澤列特電〕若槻全權一行の歡迎大午餐は本日正午シャートル商業會議所および日本協會主催のもとに行はれたがシャートル商業會議所會頭マッフィー氏が司會者となり、席上演說した人々は

日本協會代表シャンタル氏　日本人會長會和德三郎氏　全權隨員齋藤博氏　沙市市長エドワーズ氏　シャトル領事　岡本季正氏

若槻　財部兩全權の演說は別項の如くであるが右はスタンフォード大學卒業生溝口及び外務省書記官山形潤、兩氏によつて各通譯され國務省から派遣されたパレンタイン氏も一場の挨拶をなし、午餐は午後二時半に終了した。

（沙港十二日合同特派員スタンリー・ペエリ發）軍縮會議への日本代表は本日再び『この歴史上に劃時代的な大事業』に參與しその成功に滿腔の希望を抱く旨を聲明した。

日本前首相にして卅三名の日本全權一行に首席たる若槻總次郎氏及海軍大臣財部氏は沙港日本協會主催になる午餐會席上、日本が軍備の縮少に關して列强と協同これが目的達成に努力する誠意を繰返し披瀝する處あつたのである

太平洋は國際公道

財部海相は日本及合衆國間の共存的關和的關係につきて、說き「兩國間に橫たはる太平洋は障壁と解すべきではなくて、最も安全、幸福なる公道と解すべきである」といひ、帝國海軍の屢々なる友交的接觸に說及ん片『結ぶべき軍縮會議がワシントン會議及ケロッグ條約によりて既におかれてゐる平和の基礎を土臺として參加列强が協力もつて合理的、正當なる協定に達し得れば世界平和への、はかり知るを得ざる重大なる寄與貢獻をなし得るであらう』といひ

『余は高き希望といはず、深き信頼をもつてロンドン會議に臨まんとするものであることを敢へて再び諸君の前に强調する』とのべるや滿場わるゝが如き拍手が送られた。

次いで立つた若槻全權は

新しき時代の曙を告げる

『吾々は東洋にとつても西洋にとつても同樣に新しき時代に踏み入らんとしてゐる。新しい時代とは即ち國際的協調理解の時代である。然して、日本は、この時代を承認し、發展せしめることに熱烈萬難なる努力を致さんと所期してゐるものである』と冒頭して全權一行が日本出發當時の光景に說き及び

『數萬をもつて數へるあらゆる階級のあらゆる男女が、折柄の地軸を貫く豪雨を冒して、東京驛頭にまた横濱埠頭に吾々一行を見送つてくれたが、その嵐に打たれた數萬の人々の面に讀まれたものは只一つ―それは會議の成功に對する殆ど狂はせんばかりの眞摯なる希望の色であつた。それは、吾が國民の殆んど無自意識な表情であつただけそれだけ一層吾々一行にとつては印象深く感銘大なるものであつた

平和尊重は日本の思想的慣性

勿論日本國民の中にはその名譽律の内に尙武的精神を傳統として有することはいま否まうとはしないが、秩序ある平和の尊むべきことは長き教化によりていまや日本國民の思想的習慣となるまで深く印されてゐることも事實である

世界にして世界大戰前當時の狀態そのまゝを今日に持續していまなほ國際聯盟なく世界平和を說くケロッグ條約もなかつたであらう。彼の大戰の惨禍を味はうの教訓にして學ばれなかつたならば軍備縮少の希望すらも生れず、日本も亦舊式なる武裝の際にその安全保障を求めなくてはならなかつたであらう。

然り、日本は單なる制限を排除して軍備縮少を强調するものである。日本の求むる處は、只國家の安全保障の最少限度のみである。軍備の制限を排してその實質的縮少を高唱することは、これ、ケロッグ條約成立の必然の自然的歸結ではないか、現代の人類社會に夢魔の如くトルコ堡塁に着目、藩省代表以下日白人多數の出迎へをうけ一行のモーターカフの露拂ひにより直ち宿舍に入つた

若槻全權の來國における第一聲は、その席上で發せられることになつてゐる明日午後二時財部全權はシャトル在留日本人より シャトル市に寄贈する櫻三千五百本の贈呈式をなす席上で！

快速船が出來、飛行艇が空をかけるやうになつて、太平洋の幅はいよ～狹く感ぜられるやうになつた。更に茲に電話まで通ずることになれば日本といふものが益々近く感ぜられて來るのである。

一面に於てこれは、從前以上に日本との往復が頻繁になることを意味するが、同時にまた昔は日本人懷しがる必要のなくなつたことをも意味する。何事につけ故鄕懷しの一念から、鬼角尻の落ちつかなかつた我々も、斯うしたものゝお蔭で、これからは側合に平氣でアメリカに住めるやうになるであらう。二十年前一の理想として永住論が說かれた頃と較べて、時勢の變化

櫻樹贈呈式へ

海相親しく臨席挨拶

盛んな入港

當時の光景

（シャトル十一日電通）ロンドン會議に出席する日本全權一行は本日午後二時豫定の如くシャトル着國務省顧問海軍等の各代表の出迎へをうけ陸軍々樂隊の吹奏裡に上陸十四臺の自動車にて直ちに宿舍に入つた

若槻全權の來國における第一聲はその席上で發せられることになつてゐる明日午後二時財部全權はシャトル在留日本人より シャトル市に寄贈する櫻三千五百本の贈呈式をなす席上で！

快速船が出來、飛行艇が空をかけるやうになつて、太平洋の幅はいよ～狹く感ぜられるやうになつた。更に茲に電話まで通ずることになれば日本といふものが益々近く感ぜられて來るのである。

一面に於てこれは、從前以上に日本との往復が頻繁になることを意味するが、同時にまた昔は日本人懷しがる必要のなくなつたことをも意味する。何事につけ故鄕懷しの一念から、鬼角尻の落ちつかなかつた我々も、斯うしたものゝお蔭で、これからは側合に平氣でアメリカに住めるやうになるであらう。二十年前一の理想として永住論が說かれた頃と較べて、時勢の變化

〔シャトル十一日清澤列特電〕サツマ丸出しの剛快な海相

『少々脫線氣味で』と評された程の明快さ

『財部全權は

「軍縮は世界の輿論であるが國防はまた絶對に必要でありこゝに軍縮會議の重要性がある。

日本はその國防につきて自らの見解を有し、如何なる國からも不合理に壓迫されることあれば『かまはこゝは恐らく有得ないことではあるが』日本國民は決してこれを甘受し得ないであらう。」

財部氏の演說は、國なまり丸出しの薩摩辯に溯逆を極めたものだ。一行中の東京新聞記者が、『在留同胞の熱心な歡迎振りに、少しく脫線氣味で』と形容した程の明快さ

（シャトル十一日電通）若槻全權一行は本日午後二時豫定の如くシャトル着國務省顧問海軍等の各代表の出迎へをうけ陸軍々樂隊の吹奏裡に上陸十四臺の自動車にて直ちに宿舍に入つた

若槻全權はシャトル着と同時に米國新聞記者團にステートメントを與へたがその内容大要左の通りである。

「この美しき米國の地に無事由十六日午前五時十二分ワシントンに到着の豫定である。

八年前敬愛するトンに到着の豫定である

オリンピックホテルの一夜

和氣漲る歡迎の宴

廿一年前の想出を語る若槻全權

日本着すがたの財部夫人大人氣

〔沙港十一日清澤列特電〕若槻全權一行は本日午後二時當港に到着したが一行中只一人の女性たる財部海相夫人の日本着姿は殊のほか衆目を惹くものがあつた。

午後七時より岡本領事の歡迎宴がオリンピックホテルにて催され、一行は勿論多數の地方有力者の參加した。

會和北米日本人會長神山鼎一氏、日本人ム冊子編輯長山中三郎氏、渡辺商店長等のシャトル市の狀況說明あり、若槻全權これに答へて廿一年前同氏がシャトルを通過した當時の想ひ出を語り、今日の同市の發展を見て今昔の感に堪へぬる事實そのものこそ、日本親善の幸たることは未だ嘗てない。吾々はこの時に當つて何を求めず、求めん、欲せざる事を輕減するに今日のごとく氣運が心中一點の攻撃的野心を藏しない十二分の確證ではないか」

日本人會長神山鼎一氏、日本人ム冊子編輯長山中三郎氏、渡辺商店長等の歡迎宴に參加した。

午後七時當港に到着したが一行中只一人の女性たる財部海相夫人の日本着姿は殊のほか衆目を惹くものがあつた。

午後七時より岡本領事の歡迎宴がオリンピックホテルにて催され、一行は勿論多數の地方有力者の參加した。

若槻全權これに答へて廿一年前同氏がシャトルを通過した當時の想ひ出を語り、今日の同市の發展を見て今昔の感に堪へぬる事實そのものこそ、日本親善の幸たることは未だ嘗てない。吾々はこの時に當つて何を求めず、求めん、欲せざる事を輕減するに今日のごとく氣運が心中一點の攻撃的野心を藏しない十二分の確證ではないか」

全權の應答

はつきりした

ホテル着後若槻全權は會見の記者團の質問に

日本の主張は最少限度の防禦力と實質的軍備縮少にあるの旨を懇切明快に回答した。

華府着は

十六日早朝

一行は十二日午後六時シャトルを特別列車にて出發シカゴ經由十六日午前五時十二分ワシントンに到着の豫定である

友人加藤友三郎氏一行が華府會議に參加のため渡米した際もこの地に上陸したことは曾つて華府會議が成功したが如くに今回の會議も成功するを暗示するものとして欣快に堪ゑない。幸に貴國民の後援によりて大使命を完ふしたいことを祈るものである」

沙港ものがたり

きメガネ

春丹郎

沙港についた若槻全權に對して、黄白兩人種間に戰爭があるかどうか――といふ馬鹿げきつた愚問を發したアメリカの新聞記者がある。若槻氏は、そんなことは考へられぬと、あつさり答へてゐるが、斯うした種類の愚問を發して平氣でゐるところに、アメリカ人の單純な、一本槍な、よくいへば無邪氣な、惡くいへば粗雜な氣質が伺はれる。

▽

日本人ではあるが久しくアメリカにゐる筆にアメリカ化してゐる在米同胞が、動もすると、斯うした愚問を發して、日本からの旅客を唖然たらしめることがある。

▽

日本人の血を享けてはゐるが、アメリカに生れ、アメリカに育つた所謂第二世が、ともすると、こうした愚問を發して、親達や先生達をまごつかせることがある。

▽

我々日本人は昔から沈默の民である。矢鱈に口を開かぬ國民である。一問一答を慎重に取扱ふ習慣を持つてゐる。此習慣は、何事にまれアウトスポークンなアメリカ人とつき合ふ場合にいろ～不便があり、又理由なき誤解の種ともなつたが、然し、一言半句に慎重なる考慮を加へ、下らんことをべら～しやべらぬ習慣は、確にその人の教養の深さを示すもので、同じアメリカ人物は決してから馬鹿にされるやうな愚問を發するものではない。第二世等早く上に於て、親達なり先生達なりはすべからく斯うした點に注意するがよからうと思ふ。

▽

過ぐる頃、東京の萬國工業會議に列席した米國電氣電話會社副社長ジョエフト氏は、水曜日桑港につく共に、日米間の有線電話の開通が近き將來にあることを豫言した。ラヂオで日本の聲の聞ねることを喜んでゐる我々は、遠からずして日本と直接話が出來るやうになるのである。

（十二月十二日）

鶴見祐輔第二作

最後の舞踏

一、八〇

名作「母」の著者が世界人を相手に堂々日本の權威を示せる筆に明らかなる日本青年を描き出した日本最初の國際的小說

櫻井忠温著

土の上、水の上

二、〇〇

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.
SAN FRANCISCO BRANCH 415 Sansome St. Tel. KEarney 1395
LOS ANGELES BRANCH 100 N. Main St. Tel. MUtual 6144-6145
横濱正金銀行 桑港支店 羅府分店
資本金（全額拂込）壹億圓
積立及繰越金 一億二千萬圓
預金總額 六億五百万圓
◎米貨定期預金（桑港支店）凡て六ヶ月以上年五分（羅府支店）六ヶ月以上年四分
アクセプタンス（桑港支店）凡て六ヶ月以上四分五厘（羅府支店）六ヶ月以上年四分
◎郵便送金（日本主要國何れの地へも無手數料で取扱最近便にて精々勉强仕候）
◎外國爲替（貿易一切至極御便利に取扱申候）

MIKADO HOTEL
Tel. WEst 1991
1734 Post St. S. F.
日本人町の中心 各室共湯及水の設備あり
桑港 ミカド・ホテル
館主 世良田昌一
再入國諸願手續、出國許可手續

NIPPON SECURITIES COMPANY
日本株券賣買 日本證券會社
桑港本店 351 California St. Tel. GArfield1577
櫻府出張所 107 L. St. Tel. Main 5765
サリナス出張所 Tel. 596-W

高橋眼鏡店
1600 Post St. Walnut 4484

◎各種寫眞機 ◎活動寫眞機 ◎及び材料一切
イーストマン會社代理店
中原商會
桑港ターネー街三五九 電話サター 五八一二

◎イーストマン特約店 ◎寫眞機、活動寫眞機 ◎各種及び材料品
桑港ポスト街一六三九
瑞穂商會
電話ウエスト一〇九四

新年繪はがき 特製色刷 米國風景 一打一〇五
クリスマス、カード一枚五仙十仙十五仙廿五仙
クリスマス、英文新年ポストカード一枚、一仙
標準かるた 讀取一組 一、五〇〇
公定かるた 讀取一組 一、〇〇〇
小倉百人一首かるた 二〇〇、三〇〇、五〇〇
イロハカルタ 舌切り雀、怪談漫畫 各三〇
大笑ひ、大神各三〇
コドモ俳句かるた 漫遊かるた 童謡かるた 各五〇
教育 いろはかるた 一、二五
英譯 吾輩は猫である 二〇〇
英譯 不如歸 二、七〇
英譯 彈肉 一、四〇
英譯 坊っちゃん 各三〇
トランプ必勝秘訣、百人一首早取法
囲碁の捌へ方、麻雀必勝秘訣
花合せ必勝秘訣、新案福引全種
兩陛下御尊影 御尊影 二、五〇
額縁附 五、〇〇
桑港ポスト街一六三九
瑞穂商會
電話ウエスト一〇九四

THE SUMITOMO BANK, LTD.
Branches 200 S. San Pedro St., Los Angeles, Calif. / 215 California St., San Francisco, Calif.
THE SUMITOMO BANK of CALIFORNIA
400 L St., Sacramento, Calif.
桑港支店 桑港カーネル街第一五 電話サター〇一九六
羅府支店 羅府南ヒル街二〇〇 電話メンカー八一一六
加州住友銀行 櫻府ニール街四〇〇番 電話メイン一〇七八
株式會社住友銀行 本店 大阪市北濱五丁目
資本金 七千萬圓
總預金 六億五千壹百萬圓
本國預金 海外定期 年利四分五厘 六ヶ月毎に利子計算 日歩九厘 通知預金
◎當業案内 預送金申込用紙御入用其他何事に依らず御用向の節は遠慮無く御通知下さい

北米の五車堂
Tel. West 5488 1698 Post St., S. F. Cal.

E. A. DIXON
Public Accountant
307 Sharon Bldg.
San Francisco

イエムカム タックス ブックキーピング
根本的に作成して上ます。總てブックは合法的に整理して置きません。後日取返がつきません。會計簿記法の御相談は實費で喜に應じます
ムーリンガリー街五五 電話サター四八四四

羅府ホテル
櫻府東一街一一八 ニューパレスホテル 118 Weller St., Tel. MEtro. 8361
櫻府東一街一一七 オリンピックホテル 117 N. San Pedro St., Tel. Mutual 9869
櫻府東一街一一七 ミカドホテル 331½ E. First St., Tel. MEtro. 7340
櫻府東一街一一九 イーグルホテル 129½ E. First St., Tel. MEtro. 4815
櫻府東二街一〇五 ニューヨークホテル 305 E. Second St., Tel. MEtro. 3161
櫻府東二街一一五 フエドラホテル 325 E. 2nd St., Tel. MEtro 6033
南サンピエロ街一〇六 トモエホテル 206½ S. San Pedro St., Tel. MUtual 0701

青木大成堂
1656 Post St., S. F. Calif.
Tel. West 5361

鮮魚、精肉鳥、野菜類
アメリカン魚市場
桑港ブキャナン街一八三六
電話ウエスト七八九九

和洋御料理 帝國ホテル
桑港パイン街五五一 551 Pine St., S. F. Calif.
（電話テンポート七〇八三）日本行汽船切符取次

日本御料理 小川ホテル
613 California St. San Francisco, Calif.
Tel. DAvenport 1836
日本行汽船切符御申込に應ず

廣古家具賣買 SK家具合資會社
桑港グリーン街一六〇五
電話ウエスト四三二七

櫻府第六街一二三六番 メーンホテル
桑港グリー街一六〇五
電話メーン八六一〇

最新式 櫻府第四街一二一一〇 浪花ホテル
各室無料電話 ヒーター、湯、水及びバス完備
電話メーン三〇九四

新築 櫻府 一一一〇 花ホテル
電話メーン三〇九四

完備せる客室―全部電話バス附（桑港ヲクナ街一七〇二）
理想的の設備、第一流ホテル カツラホテル
電話ウエスト二三三五―二三三六
◎諸氏事項に關しては何事に依らず
◎御組合下さい。萬事御相談に應じます

大春堂
THE TAISHUN-DO
1423 KERN ST. FRESNO, CALIP.
昭和五年 オリンピック 當用日記 一部
自由日記
最後の舞踏 鶴見祐輔著 大思想全集 一、〇〇〇
知識學 世界文學全集 一、〇〇〇
懺悔錄 長篇小說全集 一、〇〇〇
谷崎潤一郎篇 大衆文學全集 二、〇〇〇
矢田挿雲集 大衆學全集 二、〇〇〇
新年葉書 風景賀詞入 一打一五 特製色刷 一仙五仙十仙廿仙
クリスマスカード 一仙五仙十仙廿仙
當用日記 昭和五年 中形背革 一、三〇〇 小形上製 一、〇〇〇 中形上製 二、〇〇〇 小形上製 七、九五〇
朝日年鑑 一、〇〇〇 國民年鑑 一、〇〇〇 毎日年鑑 二、八〇〇 運氣暦、御神賞、我運命 各二〇〇
時事年鑑 二、五〇〇

SALIE, STATE LIBRARY SACRAMENTO, CALIF.

ベーヤ翁上院空席 グラデ氏占領決定

上院の大論爭終了

(華府十一日) 上院において恥辱なりと叫んでゐる問題となつてゐた費府のボスとドー派は盛んにグランデの善戰着としてワシントンにおける院外の圓稅官士として一八九六年以來今にいたるまで盛んに活躍し共和黨に莫大な軍資金を貰いでゐたといはれるグランデ一氏の推薦はつひに大多數をもつて氏を上院の一員たらしめることになつた、この問題に盛んに反對ののろしを擧げた議員は北ダコタの共和黨ナイ氏および北ダコタの民主黨フィーラー氏等であつた、しかしてネブラスカのノリス氏は遂へて大將役をもつて米配を振り、まづヴェーヤ翁の

其後任に

ウィルソン時代に閣僚であつた民主黨員ウィルソン氏を推薦してゐたが計畫美事に破れたわけである、グランデーを擁護した第一人者はペンシルベニア共和黨上院補選ドー氏であり、反對側がグラン氏に反對した理由はエキスプローラーデーの惡徳を暴露し彼のごとき去る日開遠東樓において晩餐會をロビストが上院に入るは國家のを催した

▲ドベンチュラ組十二日木曜日午後六時半 基青青で人員廿七名

▲ミュネット組十三日金曜日午後六時半 同上 人員三十名

▲マスクツヤ組十四日土曜 正午半 同上 人員廿名

▲カムラド組(最年長者組)十五日午曜日午後六時半昭和樓 入員廿七名

暫らくお袂れ

基青各組の晩餐午餐會

サター街基教青年會では各組の會員、それ〳〵所屬の學校が休暇となるので、このターム に一先づけをつけることとし左の順で各組別に暫くお別れ休の晩餐會を催すことになつた

過去十ケ月間に當地入港の生糸

日本が外國に輸出する最大最高の弗の箱

米國シルク、フラツセーション が過去十ケ月間にわたる日本生絲の米國輸入を調査し發表したが、右によると十ケ月間に日本より輸入した數量は左の多量になる

一月	一九二九年	一九二二〇ベール
二月	三八八〇五	
三月	四三〇五四	
四月	四一九三三	
五月	四一七八六	
六月	四四四四三	
七月	三八三〇四	
八月	五七三〇二	
九月	五二二三五	
十月	五四三九七	

尚當地へ陸上げした生糸は左の如くである

桑港陸上 川崎汽船 日本郵船 倉庫

一月	四〇三三	
二月	四二一六	一三九〇
三月	五〇一六	一三九〇
四月	七一七六	七六七
五月	四八五八	三〇八八
六月	五四一二	二三八三

一月	一九二七	一七二七
二月	一五七一	一四八〇〇
三月	一四六	一五二四〇
四月	一七〇一	七五七七
五月	六七〇	一一七四
六月	二二五四	三一八八
七月	三一五七	二一六六
八月	二四四〇	三三七七
九月	一七六六	三八九
十月		

一月	一七二七	二五七三
二月	一四八〇〇	一四八〇〇
三月	一五二四〇	一五二四〇
四月	七五七七	七五七七
五月	一一七四	一一七四
六月	三一八八	三一八八
七月	二一六六	二一六六
八月	二〇三三	二〇三三
九月	三三七七	三三七七
十月	三八九	三八九

米國に於ける人種問題研究 (二)

領事官補 瀧川欽哉

しかし、今注意すべきは上記の政治的權力を有するものにおいても其の權はすべてをムラト(黑白雜種)の手に收められ、純黑人は世界いづれの國においてなん等政治的の實權を有せざることである。

今米國人種問題に立ち戻るに黑人の人種學的系統については、これを省略するも兎に角最初の黑人奴隷は千六百十九年にヴアージニア州に輸入されたものであつて其の後の一世紀間は彼等の數的增加はこぶる遲々たるものであつたしかし、十八世紀に入つて彼等の輸入および出生に見增加は急激は上騰した、十九世紀に入りてもこの數は止むことなく千七百九十年にはその數は約十萬にて千七百年の約三十倍近くに達した。しかして當時奴隷の輸入といふことは米國通商の重大なる一要素となつた。黑人の人口及び地理的分布については後述することにする

二、黑人種の發展

奴隷解放以前においては彼れ等の發展はその奴隷狀態にあつた必然の結果としてスタグナントの狀態にあつた、しかし一度奴隷制度の撤廢を見るや彼れ等は輕神的にまた物質的に發展躍進に就いた。

今も尙彼れ等は貧乏である、しかし百五十年前の彼れ等に比較するとはるかに多くの富を獲得した。當時ボスの機械の一部にすぎなかつた彼等は自らその農園邸宅、店舗を所有するやうになつた、しかして彼等に智的にも目覺ましい進歩をした。多數のハイスクール及カレッヂを自らの手で建てると同時に北部および西部の白人カレッヂには年々多數の學生を白人學生と机を並べて勉強させてゐる、黑人の教授、醫師、法律家その他の自由職業者も漸次增加した。

米國人種問題に立ち戻るに黑人の人種學的系統について

東沿岸一帶慘狀を極めた英國の大暴風雨

テームス河到る所氾濫 倫敦附近古蹟悉く浸水

(倫敦十一日) 英國の大陸に面せる海岸一帶にわたり颶風に襲はれ、つづいて暴風洪水をもつてし損害附近の小都市は殆ど全部浸水、市街を行くに舟をもつてしなければならず、ために生命を失ふもの既に百八十四名に及んでゐる。この暴風はポルトガルにも大洪水を起しまた佛蘭においても河水の氾濫著大である、昨年決潰せるテームス河堤防は今回さらに諸所に大損害を生じた

史蹟に富む

ロンドン附近は本日大いに危險の狀態に瀕してゐるが、太平洋をへだてた米國の郵便局は本日の間の電話サービスをお正月が、つい目の先へ近づいて來て、元綿の郵便局では早くも人繁昌を見せてゐるが、市内の大繁昌は、このシーズン中の最高の希望を市内のおもてなしに、映画の大寶作に從事するといふ、同氏は有田出

浸水に取り捲かれ恰も

湖心島の觀がある、テームス河附近の小都市は殆ど全部浸水、市街を行くに舟をもつてしなければならず、ために生命を失ふもの既に百八十四名に及んでゐる。海上には汽船が離破するなどの少からず而してこの暴風はなほ繼續すべしと報ぜられてゐる

ソ選手が完全に勝つ

(維納十一日) ソキンバーグはステプカーとタイトル、マッチをかけたが、得意のフライング、タフクルを殘襲を試み流石のステプカーも殆ど間もなく出ないうちに第一と第三フォールを奪はれ、案外呆氣なソキンバーグが快勝した。當夜の勝者は八千名內外でルイズ選手との手合せの時も入場者は多くなく人氣も同一の比ではなかつた

降誕祭は間近い

郵便物は早く出しませう

郵便局さん泣かせのクリスマスが近づいて來て、元綿の郵便局では早くも人繁昌を見せてゐるが、市内の大繁昌は、このシーズン中の最高の希望を市内のおもてなしに、映画の大寶作に從事するといふ、同氏は有田出

日本郵便

▲十二月十三日午前七時十五分(ウエスト局締切)

▲十二月十三日午前六時五十五分(ハーバー局締)

▲十二月十四日午前六時五十五分(シルバーベレー局締)

▲十二月二十日(春洋丸積六日發)

▲十二月十三日着(十一日沙港着サイベリア丸)

日本行

▲十二月十一日午前七時十五分(十四日沙港發ダヤクソン)

▲十二月十三日午前六時五十五分(ハーバー局締)

▲十二月十四日午前六時五十五分(シルバーベレー局締)

▲十二月二十日(春洋丸積六日發)

▲十二月十三日着(十一日沙港着サイベリア丸)

日米要求

人事欄

物件欄

尋人

日本病院

日本郵便

日本病院

日本總領事館

日本郵便

日本病院

日本郵便

日本病院

日本郵便

日本病院

黄白人種戰の質問を一笑に附した

そんなことを考へてゐる日本人は一人もないと 若槻全權の談

（沙盧十二日合圖特電）ロンドン海軍會議日本代表若槻全權は日本の立場につきて左のごとき談話を昨夜試みた。

「ロンドン軍縮會議における最も重要なる論點は海軍々備の全般的縮少である。米國代表は英米の十に對して日本が七割を要求するは、日本の國防の最少限度であつてワシントン會議における主力艦比率、五、五、三の適用は日本は贊成し能はぬ。黄白人種戰の可能性があると思ふと質問した新聞記者の一人に對して、若槻全權は明かに大笑して、そんなことを考へてゐる日本人は一人だつていないだらう。一笑に附した。

在日本の日系市民、歸米の重要手續

二年前まで幼兒には乘船名簿に名前がない 證人が必要となるので

二重國籍者の場合

一、在米の日本領事を通じて出生屆出て日本戸籍に登録の出生證記録ある謄本を送ること

二、米國官憲（出生地の衛生局）に屆け出たる出生證明を提出すること

三、若し米國移民官給の旅券を所持せるものはこれを持參すること

四、日本現住地の町村長より證明を得ること

以上の手續きをすれば大抵差支ないものと見なされてゐる、なお米市民の場合は在米日本領事を通じて日本に屆居らざるものも米國市民なるものは二、三四の書類を所持しなければならぬ。

土地を買收して東洋人を送還せよ

亂暴なるカナダ ピーシー州の協會

（ビクトリヤ七日發）ピーシー州の農者たちはその協會を通じて本州内における東洋人により所有されてゐる土地を收容し、彼等に適當な報酬を與へもし彼等を本日に送還するやうな大計畫をたてるべく州政府に要求するはずである。

此計畫を立てゐるのは

州政府の閣議に提出することに決定したが、この會見の席上、最近組織されたる白人カナダ協會の代表者もまた東洋人のピーシー州侵略の風潮を防止する方法を講ずるやう州政府を激勵すべく右會見を通じて本州内における東洋人に排斥をなしたる農業方面のみならず、かく來るべき問題に關係を有する各方面から

代表者を出すことになつてゐるので非常に重大視されてゐる、なほこの顧問會の會議は

は極秘の裡におこなはれ、記者の入場は禁じられてゐる、なほこの顧問會の會議は東洋人の所有財産收容の本質に付協議されたる内容は公表されなかつたが同會議の結論は

第二世就職の試驗臺に立つ少年

富士運送會社の藤井氏長男 けふから米人社會に見習ひ

第二世職業問題がやかましくなることは叫ばれてゐる折柄富士運送店主藤井生二郎氏は本年十四歳でクニユニアハイに通學してゐる長男弘君をして習ひの第一線に立てようとの試驗臺に立たせられたわけである。

物騒なホールドアップ

木本氏の奇市内ウイルモット街五十一番に住まる木元金雄氏は十一日午後三時四十分はスカット街とパ

効有なら しめることは

賞品授與

富眞展覽會の ご新年宴會

桑港日本人富眞クラブ主催の第十回富眞展覽會の賞品授與式は人合同繪畫展覽會はいよ〜一日より金門社交室において開催することになつたが出品者は桑港市内及灣東の諸氏で三十二名、出品點數は百二十點で何れも同人諸氏が拔群の力作決定的のものであるとのこと、なほ今回の出品は

感情さ

議事澤山な 桑日參事員會

一昨夜終了

金澤、岡村兩參事員辭任承認 新年懇親會一月十二日に開催

桑港日本人會の第十二回定期參事員會は一昨十一日午後八時から同會ホールで開かれ、右日本夜參加の件依頼ありたる種々の事情のため

協議の上 參加を見合せたる次第

遺憾ながら

内地同樣の自治を朝鮮に

齋藤總督の新提案

（東京十二日電通）齋藤總督は朝鮮に内地と同じ自治制を敷く提案を持ちて近く上京のはずである。

東久邇宮は參謀本部付

三聯隊長ご御送別の宴

（東京十二日電通）陸軍省は今年度陸軍參謀本部付になられた東久邇宮殿下は近衛第

釣魚獵獲のライセンス

來週より發行

（横浜十二日）一九二九年度のフシング及びゲーウライセンスは今月限りで無効となる故

自動網計畫

調査會可決

（東京十二日電通）政府の自動車交通網全線八十三線三千九哩は本日の調査會にて可決した。

高木益代議士

長逝す

（東京十二日電通）高木益太郎代議士は帝大病院に入院中急りて薨去したが享年六十一才である。

今尚持續

千六百の囚人 監房に籠城

（オーバン十二日）過去六ケ月間米國において監獄騒動七件あり、内オーバンは今回共

東鐵監理權

ロシア側へ

（ハルビン十二日電通）東支鐵道の監理權は露支紛爭前の狀態にかへてロシア側に附與に決した。

鐵道省 ホテル業 開始決定

（東京十二日電通）鐵道省は光吸收のため鐵道ホテル業を開始する計畫中である。

鐵道緊縮 緩和を約束

鐵相の腰折れて

初旬貿易 出超つづく

（東京十二日電通）政府は貿易振興のため商工省内に貿易局新設に決した。

貿易局新設

（東京十二日電通）政府は初旬の貿易出超

贈答品賣出

藤本商會で

駐葡米公使

サウス氏決定

日米物産と クリスマスセール

汪兆銘氏抱込み計畫

南京政府

稲葉孃入國事件 けふ公判開廷

午前十時郵便本局階上 米國巡回控訴院にて

盛に爆弾

深ギヤス

自動網計畫

今尚持續

東鐵監理權

腰折れて

鐵道緊縮

初旬貿易

貿易局新設

日米物産と

贈答品賣出

汪兆銘氏

稲葉孃入國事件

盛に爆弾

正月用重詰

例年の通り大勉強にて仕出し致候間多少に拘らず御用命の程願上候

菊川亭

桑港グリー街一六一〇 電話ウエスト六四二五

正月用

例年の通り大勉強にて仕出し致候間多少に拘らず御用命の程願上候

桑港グリー街一六一〇 電話ウエスト六四二五

正月餅 【口取羊羹】 きんとん 春月堂

桑港ポスト街一八二二 電話ウエスト一四二八

三つ輪

桑港ポスト街一六六一 電話ウエスト五四七一 主人 東川安吉

例年の通り正月用口取大勉強御注文に應じます 甚だ勝手乍ら廿九日以後の御注文は御斷り致しまして早く御注文の程願ひ致します

正月餅

三つ輪

春月堂

正月用重詰

菊川亭

三上代理事務所

高等 鍼灸あんま術

松永美容院

博多屋

すき焼

素人玄人合同繪畫大展覽會

高尾鶴松

城戸法律事務所

古買

小幡女子裁縫學校

日本行小包 船客手荷物

富士運送會社

クリスマス贈物賣出

日本ホテル

米國

藤本商會

日本ホテル

野一色放射蒸熱電氣治療機

高尾鶴松

小幡女子裁縫學校

日本行小包 船客手荷物

富士運送會社

クリスマス贈物賣出

桑港市況

十二月十一日

降雨のため市場活況なく

在荷動かず

概況 桑港市場は今朝何等の変化なく在荷釘付け状態に一部分の陸揚マ開散な市場で皮肉な氣分を見せてゐた。ストロベリーは品薄になるにつれ好況をしめし、アーチチョークもつづき手堅し。されど別にこれと見るべきものなく一般に軟調であつた。一方クリスマス、フリー等はクリスマスを見込んで入荷多くまだ大したこと動きを見ず。

▲バナナ バナナは布哇中米いづれも軟凡、斤四仙から五仙半。

▲ベリー ストロベリーは今朝品薄にして強に騰貴し飛びきりの出のごとき値貴れゆきし模様。

▲クランベリー 半パレル九弗五十仙から十弗。ハコンベリーポンド十六仙から十八仙。

▲相橘類 相橘類は今朝軟調なりしが市價変化を認めず。

▲グレープフルツ フラレ郡もの三箱五十仙から四弗廿五仙。アリゾナもの四弗から四弗五十仙。帝原もの四弗から五弗五十仙にてチョイス物五十仙から一弗落ち。

▲レモン 八弗から十弗五十仙。ビーツ キャロット 打。レモネット二弗五十仙から三弗。トアニップ 打。七十五仙。

▲オレンヂ キーヴァル種は五箱五十仙にてチョイス物三箱五十仙から四弗。

野菜相場

▲アーチチョーク アーチチョークは今朝持ちなほし三弗五十仙から五弗五十仙にて相當動きし模様であつた。

▲ピンズ ピンズの需要なし市價不變。

▲キュベーザ ワッフンビル及びワシントン州方面物二箱五仙から二箱七十五仙。

▲セロリー 品質により市價に大差あり一箱五十仙から四弗内外までにてスロー。

▲レタス ドライもの一弗から一弗五十仙。フイス物昨朝と同様。

▲ビー 帝原物スローにてクレート六弗五十仙から七弗七十五仙から七十仙。

▲トメト スローにして地方物一弗から一弗、南加物のクレート二弗五十仙から三弗。

アスパラガス	地方物	一二五
アボカド	赤	一二五
	黒	一〇〇
ビー	半月箱	一〇〇
ポテト		一〇〇
スクワッシュ	白	一〇〇
	緑	一〇〇
ビーツ	袋入野菜	一〇〇
キャロット	袋	一〇〇
トアニップ	袋	一〇〇
ルバーブ	白	一〇〇
スクワッシュ	緑	一〇〇
ポテト	百斤	一〇〇
トメト		一〇〇
ローカル	ラグ	一〇〇
南加		一〇〇
セロリー	クレート	一〇〇
オレゴン		一〇〇
地方		一〇〇
	ラグ	一〇〇
	ボンチ物	一〇〇
	束	一〇〇
	ラグ	一〇〇
	百斤	一〇〇
	束	一〇〇
	袋

南加版

商人の妻呼寄事件
池本夫人勝訴！
再渡航證で歸國結婚しても善意の商人と認む

池本夫人上陸禁止ガ許可される。にあるらしいが乗客中數名負傷
羅府の國際貿易會社支配人池本し電車會社とトラック所有者た
保氏（二九）は今春再渡航證をとる吉永氏を相手ごり損害賠償を
つて郷里岡山縣に歸り時子夫人提起した。吉永氏は幸にも野
（二〇）と結婚し六月横濱へて歸口事務所を通じ去る十月下旬保
米したところ、敵港移住局では險に加入してゐたので全部保險
一、池本氏は父の呼寄で渡米し會社が責任を負ふことになつた
二、貿易商人として駐日米領事と
三、日本に歸つたのは就用でなく、旅費滞在費
の者證なく給料を支給
されてゐない
ので池本氏のみ上陸ガ許し夫人
を送還せん とし、池本氏
はキーチング、安倍後吾兩氏を
通じ夢國省に訴願したが同樣行
政處分で送還命令が下つたので
直に右兩氏に依頼し合衆國地方
法廷に人身保護律申請を提訴し
たところ本日ゼームス判事は
一、呼出移民局も高校を卒業し
配人である
二、例へ私用で一時歸國しても
善意の商人たることに變りな
く
取引金額の多寡によら
ずその妻子の入國は可能だ
と正式に二陸ガ許され夫妻は
もとよりキーチング、安倍氏も
大喜びである。

巴市大學々生演說會
入場無料で

パサデナ大學々生會では來たる十五日夜七時から日本人會ホールで左のプログラムで演說會開催
司會者 柏原三郎
紹介者 改選と民族主義 松山規
米國極東外交 小濱繁人
性に對する私觀 中村三郎
我財界と景氣環境の必然性 塚本正己
未定 島内良延

宮本斬りは正當防衛
三ノ上老人無罪免訴

九街市場で宮本勉を斬つた岡山縣人三ノ上慶吾（五六）の傷害は昨日午後三時開廷、加茂川の女將鷹藤けしの、宮本其の他被害者に有利な證言をなしライト辯護士は正當防衛を主張した結果免訴放免となつた

吉永氏自動車事故

既報ガーデナの吉永正義氏（下）の運轉してゐる黑人がトラック操縦中セントラル街と二十三街角で黄電車に衝突され非は黄車側にあるらしいが乗客中數名負傷

「第二世は自滅か」
西本青年が時局講演會

昨紙既報西本願寺傳教青年會主催の明大學生講演會は突然中止となり、これを機會に時局大講演會に變ずるに至つた
一、呼出移民局も高校を卒業し
一、血で血を洗ず同胞社會の危機 西原驚
一、第二世は自滅か 柏村輝夫
一、明大學生二名の感度批判 青木喬一
西本佛青と行き違を生じた明大雄辯部の長尾、三木兩氏のため校友たる南加同窓會組織長伊藤治氏の肝いりに近く演說會を開く由、伊藤氏には既に明大學長橋田秀雄氏より依頼ありあり、九街市場青年會、南加大學生會等が大いに後援してゐる。

特務艦隱戸入港
本日午前八時

特務艦隱戸は本日午前八時サンピードロに入港、羅府日會より出張、水兵さんの接待は書夜大師教會婦人會で饗應する

明大學生演說會開催

伊藤氏の世話で

家庭法話日程

津布良開教師の大谷派布敎所では左の如く家庭法話をなす
▲十三日夜＝モチタ朽木才次郎氏宅＝▲十四日夜＝ヒロタ井一日夜ボイルハイト泉寛吉氏宅

出羅の人々

サンノゼ鶴田、桑港大西、霞府ンピーサ伴、サンデーゴ坪井、エイセントロ佐藤の諸氏は何れも本日來羅。

南加雜信

▲ヴィスター土地事件（關）サンデーゴ日曜では國語時聽會をひらき鐵道の程度を調ずるらしい
▲サンデーゴ佛婦人會は來たる十五日川邊夫人の病氣全快岡崎夫人の歸來祝を兼忘年會を催す
▲サンルイスオビスポ教會では十三日夜ボ佛教三十年記念として本山特派布教師遠山正瑞師の講演會あり
▲ガーデナの島氏夫人はコレラ丸で歸米した
▲西羅府（ソーナル）の日本語學園生徒加藤峰子さん（七）はジフテリアで入院治療中だつたが十二日全快退院、長野夫人も芽出たく全快さる
▲ノーウォーク學園の殺人事件は十四日夜七時より
▲羅府西ヒアダムス街の廣瀬邦銘氏夫人は昨日午前二時死去
▲パサデナの名物「正月一日の花祭」には同地の第二世諸嬢が美しい日本着姿で花車に乘り郷一等賞を奪んものと準備中
▲モンロビアの岡崎甚太氏（熊本縣人）の三男光雄君は腎臓疾患で羅府日本人病院に入院中だが經過良好
▲ブローレー美以教會のクリスマス祝賀會は二十五日夜七時から盛大に擧行
▲エルセントロの金丸節一氏（廣島縣人）宅には目出度くも男兒が生まれ、母も元氣のいい男子で母子共健全
▲同じくエルセントロ在住鹿島縣人近久宏氏夫人も男兒分娩
▲ロングビーチ在住佐賀縣人副吉吉次氏母堂及日本人會長土橋德太郎氏子息は何れも昨日永眠
▲羅府基督教界の重鎮桝中幸一氏は腸炎病氣見舞のため來たる一月十日淺間丸で歸國する由

リバーサイド（十二日）

コーチウラに新教會堂
ロビンソン氏の厚意で

コーチウラといふより愛の村「獣堂式を執行し落成祝賀會を催すことき信仰者相集まりてイエスの友といふ集團を組織し共存共養全村こぞつて一家の家庭の如く親み睦まじうせる同胞は今回第二のミラー翁の如き親日家ビー、エフチ、ロビンソン氏が一英加の土地と金一千弗の寄附を新築中のところ愈々落成したるにつき來十五日午前十時より基督式を執行し落成祝賀會を催すとの事なる。當日は當都は申すまでもなく遠く羅府南は國境近くの在留邦人は勿論、同胞の喜びに當都やう一——
「いやなに、このづれのことは世にありがちのことでござるよ夫婦が事を成就するまでには一度は浮沈もござらう——まつ當分は抽庵にて御休息の上しづかに事をはこばれなされ」
「辱ないお志。」
と、八郎は禮をいつたが、
「たとに安穏うじ。もはやあたりもたやすくなれてまるつた容子」
いづれにしてもいそがしい身の上、何とかして此寄山岡先生に一目拜顔いたし、後事についても御相談申したい。貴公、その姿ゆゑ人目にもたつまい。麻布までひと人目にもたつまい。麻布までひと人目にもたつまい。麻布までひと

フレスノ【十一日】櫻府軍を迎ふる布青聯の陣容

勝たねばならぬ一戰 晴雨にて構ひなし

十五日(日)午後二時半から日本人野球場に行はるる櫻府チーム對布青聯の野球戰は一般ファンから異常の興味をもつて期待されまた布青聯にとつては萬一この一戰に不覺をとれば爭覇榜の失墜となるわけで身を粉にしても必勝せねばならぬので左の選手は意氣沖天の勢ひでその日をまつてゐる……入場料五十五仙學生三十五仙……雨がふつても戰ふ……審判官は布大より來る

【ピッチャー】鶴岡 山城 安部 山崎弟【キャッチャー】堂本 屋地 清水弟【ガード】中村 清水兄 濱中 河合【センター】大田【ライトバック】大赤兄 吉川弟【ハーフバック】飯野 大赤弟 藤貞【フールバック】中川

何れも一騎當千まさに中加選抜の精鋭であるが櫻府チームは前日來布市にカドホテル投宿のはず

川崎氏講演

既報の如く桑港總領事館の川崎寅雄氏は十五日午後來布し三日間各所に講演を試みるがさらにそのプログラムは十五日(日)午後八時組合教會にて第二世のため

【日本の文化】川崎寅雄氏

ピヤノ獨奏 川崎夫人

同合奏 風戸ひい子 福島淑子

布日理事會

十四日(土)午後二時よりフレスノ日會理事會を開き下旬開催さるべき最終定期常議員會に提出日程案をその他重要事項に關する協議ありと

籠球聯盟代表者會

十五日にはゲーム中止

中加バスケットボール聯盟では來る十五日(日)午前十時より布市會堂に代表者會を開催につき各地よりもれなく代表者を派遣されたいと……なほ當日午後のゲームは一切中止するはずだ

バイセリア

▲大谷民永眠 當市元老大谷甚太郎氏は病氣中本日午後二時五十分フレスノにて死亡につき葬儀を來る十四日(土曜)午後一時より梅市佛教會にて執行する大谷氏は明治九年廣島縣安佐郡西原村にて生れ明治三年渡米日露の役には召集應じ出征の上再渡米大谷商店、旅館玉郎なきを經營して今日にいたる

ダイニューバ

▲送別會 ダイニューバ地方に佛教信仰方面に活動した藤本遥一氏および夫人は都合上歸國するにつき佛教修養會及び佛教婦人部はその送別會を十二日(水)修養會館に催すはずで一般の出席を希望するとのこと

▲寄附 オレンヂコープ杉原獲次郎氏夫人病氣全快祝に十弗ダイニューバ安井若三郎氏夫人子女日記念に五弗何れも佛教婦人會へ

ボールス

周防武生氏と鶴谷玉枝嬢の結婚式は昨日午後四時ボールスチャーチに京極開教使司式のもとに壯嚴に執行されまたさらに午後七時より同チャーチに披露宴がひらかれ列席者百五十餘名左のプログラムあり

司會齋 正原直市 新郎新婦紹介及挨拶 媒介者 櫻齋伍六氏 友人岡村謙三 佛女賀太田いさみ 青年會西本俊雄 親和會中田重太郎 來賓神川幸一各代表およびハイスクール教師クロウ嬢 謝辭 熊谷家側荒川庄六 周防家側 周防勇一各代表

それより餘興にうつり岡村謙三氏司會し來賓の讃歌百田、杉山氏の聞き客歌をつくし盛宴であつたと

結婚式と披露宴

臨時總會

寒る十五日(日)午後七時より親和會および婦人部の臨時總會を開催につき案内狀の着否に拘らずもれなく出席ありたしと

布青聯墓地掃除

十五日(日)午前九時より布都南平會聯盟では共同墓地の掃除を例年のとおり行ふことになつてゐるがフレスノ日會より年餅を一同に供するはずだ……ちなみに午後は同聯盟のフートボールゲームありこの日はあたかも布青聯デーの觀を呈す

●獎學寄附 フレスノ市内一弗宛 山本孝夫 若狹巻一 大野又一

●大原夫人離米 マデラ大原男之助氏夫人はコレヤ丸で六日離米したよし

●寄附 セルマ昭和夫人會より布市教世軍へ五弗

●解雇だより キングスバーグ大機氏子息總領へ小此木

オークランド

●中村時計店 本紙の毎土曜にこさいサインを掲載はゴルデンウエスト廣告である。同胞諸君の同店は英語の看板はゴルデンウエスト廣告である。同胞諸君のためクリスマス及正月の贈答品を現金取引は破格の値段で販賣してゐる。試みに第十五街の本店または第八街の支店を訪ふて直接品を見れば首肯さるべしと

●地方の同胞 今度の降雨で地方農村は一寸愁眉を開いて喜んでゐる。一度降りはじめると毎年の例なり古老は云ふてゐる來年の二月末まで降雨あるは毎年の例なり古老は云ふてゐる來年の二月末まではふたたびふらしたいと願んでゐる今回の降雨はすでに播種してある麥類および早苗の豌豆等の生育に効果あり

●年末各商店 アイエムタイ商會は伊藤兵藏氏が主任經營の最新式の機械をすつて從來の經驗と熟練をもつて新業を開始し顧客に滿足をあたへてゐるといふことである。同店のレードタイヤは走力の耐久力が他の新タイヤと等しき効力ありとの評判である。また隣家のヂエームス自動車修繕所は年來に關し荷物運搬また私用事務のため自動車の活動期のため使用前のオーバーホールあるひは一部修繕のため修繕中しこみあり多忙のよし、なほ住本商會は飲料物を取扱ふてゐるためソフトドリンクスマス正月用として他の瓶の飲料物の注文もあるべく思はれてゐる辻寫眞館東富寫眞館も知己朋友におくる人たちの撮影に、人足しけく谷商店も活氣づきつゝあり主人谷の笑顔に接するは何となく氣持ちよきことである、各商會に歡在し外國人區域にある同胞のグロセリーは各所とも一樣に繁盛

ヤンノゼ【十一日】

飛だ手違ひから破廉恥罪

全然無罪となる

ピスカデロよりマウンテンビューに移りデマチニ氏の下に働きフラクター買ひこみにあたりてサインしたる書物の手違ひとなんでもない罪をきせられ一千弗のボンドで假出獄中なりピスカデロのフランク高田君自分には全然覺えのない告訴をコンマシヨーマーチャントより起されし悲憤やる方なく身に暗き覺なきことゆゑ何處までも絶對戰ふ決心のほどを固め前月より當市のミラー報事の刑事法廷にて桑港のカストレル氏擁護の下に審判中の竊盜事件は數回の審理の結果無罪となる事報あり帥木夫人はうれしさのあまり日の身となる來語を熱讀せざる日の身となる來語を熱讀せざるより往かんかと大聲を發し起きより往かんかと大聲を發し起きることあるゆゑ互に注意することが肝要でありまた身におはへのなきことには自人さいへども容赦するところなく何處までも追求し潔白ならべき正しき名譽をふて潔白ならべき正しき名譽をたもつべきである

大賣出しの土橋商店

來が近づいたので土橋商店の若主人ウント賣出しをはじめた商賣はたばもう勉强と誠實よりほかありません、急がずあせらず顧客に對しては同じやうにすべてを勉强して提供してゐる。荷物が豐富で買ふに遠慮がなく買ひよいとは客の聲

●今岡灸點師館 王府に出張中なりし當地の大師讃りの名灸點師今岡究師氏は昨日館宅せり編分第四街の自宅にて點灸施術をなすと

美以教會報

十二日午後七時半カロテ日高氏方にて家庭集會

十三日午後七時半婦人會例會役員選擧

十五日晩禮拜午前九時半朝禮拜午前十一時半禮拜午後七時半說教「現代社會に於ける罪の合理化」河野牧師

十七日午後七時半サンタクラス降矢氏宅にて聖書研究

特別講演會

來る十四日(土)夜マウンテンビュー教會にて「醫育の根本」と題する河野牧師の特別講演あるゆゑ出來る限り多數出席されたしと

ソートレーキ (七日)

塩湖公立學校 冬期休校

例年通り廿一日から

市公立小中學は九月新學期開校後休校日多かりしため今年の冬やすみはクリスマス前後二四日なるべしとの噂が同胞子女の間に行はれてゐるが市教育局の話しでは此の噂は何等の根據なしちがひで本年も例年どおりとなる二十一日の土曜から休業、一月二日に開校する筈であると

●代がはり 市内エメリル街の登録護輔氏は今度岡部正氏の對業小賣り業一切の權利を讓りうけ本日より營業

●入院 州ルフキスバーグの農業家長田貞吉氏は肝臓治療のため先週夫人同伴桑港ホーリロースに入院切開手術をうけたが經過すこぶる良好である

●輕快 池上吉太郎氏の二女ちゑ子さんはポテリヤの腦ひがみ醫師の注意を入院したがまもなく頃より輕快そのうち退院

●出生 アイダホフォルスの桑港のカストレル氏擁護人先週男兒分娩の早川秀一氏夫人

▼苺苗販賣▲

ニコハマ バンナー ニューオレゴン キャピトラ(新物) ヤングベリ(木苺)

例年の如く「ターラック產」出し至極優良の苺苗を賣ました、特に「キャピトラ」苗は甚も新物で且多くの收穫があります。御照會は下記の所へ

梶岡八藏 P.O. Box 766, Turlock, Calif.

▼苺苗▲

種類『ニコハマ』

右苺苗は『コーチズ產』にして特に優秀雜實のもの多少に不拘ず御注文を乞ふ

山本農園 H. K. Yamamoto Co. Del Hi. Calif.

正月餅

昭榮堂

本年は特別勉强して御注文に應じます

富士屋菓子店 王府フランクリン街七一二 電話 ハリデイ 〇三七〇

ちん餅

佐市北第六街六一三 電話 ハリデイ 〇三七〇

●靈氣療法(手のひら療治) 毎水木曜午後七時より教へます 自動車を容易な方法で提供致します

電話アシベリー二四〇

自家療法實及會

DIETZ MOTOR CO.

2318 Central Ave., Alameda.

Ford

日本人部主任 神崎清

一ケ月保險を附け修繕致します

電話アラメダ二巻貳一

衛生用達帶

プロテツクス 一手販賣 水木忠 P.O. Box 274 SANGER, CAL.

經濟的及實用向フード 自動車を容易な方法で提供致します

死亡廣告

夫甚太郎儀病氣中處養生不相叶本日午後二時五十分遂に死亡致候此段辱知諸君に謹告仕候也

追つて葬儀は來る十四日(土曜)午後一時梅市佛教會堂にて執行致候

昭和四年十二月十一日

中加パイセリア

妻 大谷ウラ

外親戚 友人一同

大絶賣

絶對破格

末出し

十二月卅一日迄通し

クリスマス並に歲暮贈答に適當なる美術的花瓶、盆、瀬戸物類其他珍らしき物が澤山着きました平素の御愛顧に報ゆるため何品に限らず破格の値段で提供致します

絶對破格の食料品現金相場は…

リバテー印ブルーローズ	五弗五十仙
加州米上等 五俵以上一俵に つき十仙引き	四弗 七十五仙
醬油(亀甲萬)	三弗八十五仙
クリスタルホワイト 百入	三弗九十五仙
二弗六十五仙	
布一袋	四弗五十仙
サクラメント 上等	二弗三十五仙
二十四斤入	一弗三十五仙
十二斤入り	七十五仙
半斤(大)	九十五仙
三斤	八十五仙
山木印 一斤	三十五仙
矢印	九十五仙
同	九十五仙
カンガルー印(小)	九十五仙
かまぼこ	三ツ
竹輪	四ツ
五ツ	一打
一弗七十五仙	
九十五仙	
九十五仙	
九十五仙	
九十五仙	
一弗	
九十五仙	
九十五仙	
九十五仙	
九十五仙	
三ツ	
四ツ	
五ツ	
一弗	
一弗	
一弗	
九十五仙	
九十五仙	
九十五仙	
九十五仙

サクラメント 支社 電話 メーン三〇六六【十二日】

日本着で通し 歐米の教育視察

六十歳にも似ず若々しく十文字女史令息令嬢同伴來櫻

本年夏ゼネヴァに開かれた國際聯盟教育家大會に出席し會議終了後歐米各國の教育狀態を視察し來たる十八日のコレヤ丸で歸朝する東京巢鴨の女華女學校々主十文字こと女史は令息後藤夫氏と令嬢と子嬢同伴で昨十一日午前九時すぎのエス、ピー線で櫻府崎醫師夫人の叔母さんにあたるので愛姪や孫さんたちに面會すべく來櫻したのが目的である

▲女史は蒼い頃の高女師範出身で明治年一月には六十一才になると云つてるが、なか〳〵元氣で四十五六才位にしか見へぬ教育家代表首腦に林子爵から排日の盛な國柄だから華裝になまいと動められたが日本固有の禮裝に世界をめぐるの此に何か故障がありませうと遠慮に徹通して通るました。之仙太郎氏は師炎にかゝり當市外へつて歸迎された大西洋上で病院に入院中なりしが櫻石は英國の名官僚家から骨像を描いて贈られました」と語る

女史は故大元氏を輔佐して一代の致富をさせた偉人だけに郡州における日本人の發展の目ざましき成績に喜び赤手空拳で發奮努力をつゞけて來たる健氣の精神に滿腔の同情を表し一同の身體の健康を心から祈つてやまぬと語る歐米諸國人の體育狀態や營養料攝取の研究は日本に歸つてから學校の事業にも社會事業にも改良したいと思ふこと山ありますと云つてゐた。天候惡き故ヨセミテ行を中止して來たる土曜まで當市に滯在の後定

▲日露巡事員會 コートランド日本人會の最終巡事員會を來た五月の日曜午後一時より同會事務所で開催すべく巡事員は もれなく出席されたいと

▲坂田農園本部移轉 ホーランドの園農坂田辰喜氏は第二農園に住宅建築中のところ各務成して先日モースの本部を第二農園に移しました所電話はコートランド七二四なりと

▲慶事 メリット島農業家熊本氏は現在郡州ヴェニスに出張中なるが本月十日ごろ歸櫻すべく

コートランド通信

不老林 和歌山縣人會 役員

フロリンの和歌山縣人會新役員左のごとし

會長 梅本良助▲副會長 田敬太郎▲會計 梅田竹次郎▲監査 大谷友三郎▲書記 山田環

ちなみに原本氏より故雄三周忌の記念に大弗大正事國に寄附

●雨はひ 此の頃の雨はまさに黄金の雨で各農業家大喜悦で蒔蒔を催してゐると

●ベルリン 死去 ベルリン駐在の旅館經營者三川仙太郎氏は師炎にかゝり當市キャー病院に入院中なりしが櫻石は英國の名官僚家から骨像を描いて贈られました」と語る

●三川仙太郎氏死去 ベルリン駐在の旅館經營者三川仙太郎氏は師炎にかゝり當市キャー病院に入院中なりしが櫻石は英國の名官僚家から骨像を描いて贈られました」と語る

●熊本氏長男入院 北サクラメントの農業家熊本氏長男熊本勝彼は去月十日カレッヂ在學中に腹膜炎にかゝり昨十一日アグチス病院に入院した

●久保田氏歸國 當市の元醫師旅館主たりし廣島縣人久保田勝次郎氏は來る十八日コレヤ丸で歸國すべく十六日午後六時半の汽船で當市を出發すべしと

山口氏結婚 【十一日】

スタクトン

披露會港壽して

來賓代表藤森藤一氏祝辭を述べ塚原ドクター の踊り二式に引き續き西海賀平野周平、新聞記者代表遠藤隈治氏祝辭あり、荒尾兩氏の謠曲あり、榎原、荒尾兩氏の謠曲あり、榎原氏の輕妙な謠唄に富んだ間に來會者七十餘名大いに興じ散會したるは十時すぎであつた。因みに山口氏は現在サヤを經營し新郎は共高學校を卒業したる才媛であるとテルにおいて一般の易斷および相談の需めに應ずべしと

●易講演 士鈴木好時は老マラソン選手として多くの日本人に知られたる人で來る十六日午後八時より易學の講演會を催すべしと。なほ同日より以後五日間市內ルーズベルト、ホテルにおいて一般の易斷および相談の需めに應ずべしと

●上等潤滑 市內センター魚店は日本式製造の絡潤潤滑着荷大好評であると

●忘句會 來る十五日夜市內ルーズベルト、ホテルにおいてデルタ吟社の忘句會をもほゞ終へたるべく早く出席をと

●公立學校參觀 來る十三日午後一時より定例の公立學校參觀をなすべしと、今回の參觀の學校はフランクリン小學校である

●佛教會へ寄附 ヤンプ金十八弗、島田米藏氏金二十五弗、同キャンプ金十五弗、五十仙

●日曜學校へ寄附 ローダイ西本繁吉氏は煎餅入大鑵一箱日曜學校へ寄附ありたり

藤田商店 港の食料店

第二世演說會

十四日（土）午後七時開會

オープン學園主催のもとにプラサ郡內各邦語學園生徒の日本語演說會が來たる十四日（土）午後七時より王文學園において開催されるが、ニューキャッスルベンリンの兩學園より出演の王文學園の代表者は次の通り

王文學園主催

ニューキャッスル通信

●小川、神野兩氏歸櫻 過日來市に帰郷嬢は去る十一日土曜夜六時より日土曜日午前一時半の汽船で歸櫻の小川英雄氏は夫人令嬢と共

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10823. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., FRIDAY, DECEMBER 13, 1929.
Copyright 1928 By The Japanese American News
Per Month $ 1.00
Per Year $11.00

ASPIRATION OF JAPANESE PEOPLE FOR WORLD PEACE IS VOICED BY WAKATSUKI

Chief Delegate Pledges Efforts to Reduce Ponderous Burden of Armaments Which Has Lain Like Nightmare on Mankind

By STANLEY BAILEY
United Press Staff Correspondent

SEATTLE, Dec. 12—Japan's delegates to the world disarmament conference in London today outlined their hopes for successful participation in "a great task in history."

Renewed pledges to cooperate with the powers in limiting machinery of war were made by Reijiro Wakatsuki, former premier of Japan and head of the delegation of thirty-five officials and experts, and by Takeshi Takarabe, minister of the Japanese Navy, in addresses at a luncheon given by the Japan Society of Seattle.

Speaking of the clarified and harmonious relations between Japan and the United States, Takarabe said: "Between the two countries lies the Pacific Ocean which, better than constituting a barrier, is the most easily traversed of highways.

Frequent friendly contacts between the navies of the two countries were reviewed by the minister.

HAS DEEP FAITH

"If this conference," he continued, "can build upon the solid foundation of peace already laid by the Washington treaty and the Kellogg pact, by enabling the powers in attendance to find a reasonable and just point of agreement, its contribution to peace will be immeasurably great.

"I wish again to emphasize the fact that I am proceeding to the London conference not only with hopes but with deep faith."

Wakatsuki said: "We are entering upon a new era equally new to the East and the West, an era of international cooperation and understanding. It is an era which Japan is eager to accept and ardent to further."

He told of the delegation's departure from Tokyo.

WISH OF PEOPLE

"Thousands of men and women," he said, "from every walk of life crowded at the railway station in Tokyo and the wharf at Yokohama undeterred by a drenching storm, and in their faces one could read only one thought—a sincere and almost anxious hope for the success of the conference. It was a demonstration all the more impressive because it was a truly spontaneous expression of our private citizens.

"Although the nation still treasures military virtues in its code of honor, nevertheless the long schooling in the value of ordered peace has left a strong impress upon the habits of thought of the Japanese people.

"Had the world remained as it was in the days preceding the World War, had there been no covenant of the League of Nations, no Kellogg pact of universal peace, if the lessons of the futility of war had not been learned by this generation, then there would be little hope of lessening armaments and Japan would be obliged to seek its security in the age-old method of organized force."

STRESS REDUCTION

"Japan," he continued, "will advocate reduction, not merely limitation of armaments . . . and all that she demands will never exceed the minimum needs of her national security. The reduction rather than limitation of armaments is what should be the natural outcome of the Kellogg pact. Why can we not at this appropriate moment reduce the ponderous burdens of expenditure which has lain like a nightmare on the recent generations of mankind?"

NO IDEA OF ATTACK

"The very fact that Japan is not demanding and will not demand numerical parity with the United States or the British navy is in itself sufficient proof that not an iota of the idea of attack has entered into the considerations of the Japanese navy."

The delegates will leave here at 6 p. m. for Chicago and will go thence to Washington.

DEFINED

Willie—Pa, What is a grasshopper?

Pa—That danged dull lawn mower of ours!

FROM CHICAGO

"What are all those holes in your diploma?"

"O, I graduated from Chicago U."

JUC of Oakland Is Host to Group of Students at Supper

Special to The Japanese American News

OAKLAND, Dec. 12—A group of students from the U. C. Japanese Student Club were guests of J. U. C. Club at a delightful supper given Saturday evening at the Y W. C. A., 1515 Webster street.

Bridge and dancing followed the supper About twenty-five young people enjoyed the evening.

Miss Emma Sakada, president, was in general charge of the affair.

PARTY GIVEN CONSUL FETE

Mrs. Takarabe Attired In Kimono Attends Welcome Banquet

Special to The Japanese American News

SEATTLE, Dec. 12—While the United States army band was playing the Japanese national anthem, thirty-three members of the Japanese delegation to the London naval conference disembarked from the S. S. Siberia Maru here yesterday afternoon at 2 o'clock.

Escorted by fourteen motor cops, the entire delegation was motored to the Olympic Hotel, where in the evening Consul Suyemasa Okamoto tendered them a brilliant banquet.

Mrs. Takarabe, wife of Admiral Takarabe, Japanese Minister of Navy and a delegate to the conference, attended this function attired in Japanese kimono.

Among the speakers were Mr. Sowa, president of the Japanese Association, and Mr. Okiyama, head of the Japanese Chamber of Commerce. Both Reijiro Wakatsuki and Admiral Takarabe spoke.

Hoshi-no-Hana of Berkeley To Stage Basketball Meeting

Special to The Japanese American News

BERKELEY, Dec. 12—Hoshi-no-Hana Girls Club of Berkeley will hold a special meeting on Friday, Dec. 13, at the Japanese Association Hall. It starts at 3:15 p. m.

Discussions will center on club schedules for basketball games with other girls' organizations of the Bay region The series starts on January 5.

Hoshi-no-Hana players are handicapped by lack of adequate training facilities, but they are nevertheless expected to put out a strong team towards the end of the season. Hoshi-no-Hana was the only organization to defeat the Camp Fire Girls of San Francisco in the league last season.

DRASTIC CUT FOR NAVY IS JAPAN'S AIM

Wakatsuki Opposes to Plan for Abolition Of Submarines

SEATTLE, Dec. 11—Not mere limitation, but the reduction of all naval armaments will be the goal of the Japanese delegation at the five-power naval conference in London next month.

This was the announcement today of former Premier Reijiro Wakatsuki, as he debarked from the liner Siberia Maru, heading an official Nipponese party of 33, en route to London, via Washington, D. C.

In addition to the stand for absolute reduction, Wakatsuki made it clear that the Japanese position at London will be as follows.

DEMANDS SUBMARINE

1. Japan will oppose the Hoover-MacDonald plan for abolition of submarines, insisting that it needs undersea craft for defensive purposes only, but will be willing to accept a submarine limit considerably below that of the other powers.

2. In the range of "auxiliary" craft generally, cruisers, destroyers, and submarines, Japan will contend for a 70 per cent strength, as compared with Great Britain and the United States.

3. Japan will seek no re-opening of the 5-5-3 ratio applied to capital ships—battleships and battle cruisers—by the Washington conference.

RETRENCHMENT

The ex-premier admitted frankly that political considerations at home entered into the Japanese efforts for absolute reduction of navies.

While his party, the Minseito, did not come into power on a disarmament program, he explained, it is committed to rigid retrenchment of expenditures. And naval reduction, he explained, will help the party to carry out its economy program and add to its prestige.

In addition to explaining the stand the Japanese delegation will take at London, the former Premier answered a number of other questions.

SUPPORTS HOOVER PLAN

War between the yellow races and the white is "unthinkable," he said. He agrees in principle with President Hoover's plan for making food ships inviolate in time of war, but believes there are many technical difficulties to be ironed out.

And while the time of complete disarmament is not yet in sight, he believes the Washington, Geneva and London conferences all represent steps in that direction.

"President Hoover's plea for the imunization of food ships involves many intricacies of international law," said Wakatsuki, "but Japan is entirely in accord with the plan.

The ex-premier predicted that the London conference would be as great a success as the Washington limitation conference.

Army, navy, and state department officials as well as civic leaders greeted the delegation upon its arrival on the Siberia Maru.

Hoover to Receive Delegates Dec. 16 At White House; Wakatsuki to Place Wreath on Tomb of Unknown Soldier

WASHINGTON, D. C., Dec. 12—The official Washington program of the Japanese delegates to the London Naval Conference, completed recently, provides that the Japanese party, headed by Reijiro Wakatsuki, will arrive in this city on the morning of Dec. 16. The delegates will visit the White House for an interview with President Hoover at noon of the same day.

Those who will be received by the President include Reijiro Wakatsuki, Japan's chief delegate; Admiral Baron Kiyokazu Abo; Count Aisuke Kabayama; Dr. Tadao Yamakawa; Takukichi Kawasaki, the last four being advisers; Vice Admiral Masazo Sakonji, technical expert, and Hiroshi Saito, chief of the Intelligence Bureau of the Foreign Office.

DINNERS ARRANGED

On the evening of December 17 an informal dinner will be given in honor of the delegates at the Japanese Embassy. At noon on December 18 the visitors will attend a reception given by Katsuji Debuchi, Japanese Ambassador to Washington. President Hoover will be host to the delegates at dinner on the evening of the same day, and Colonel Stimson will honor the visitors at a luncheon.

While in Washington the Japanese delegates will visit the grave of George Washington at Mount Vernon, and the grave of the Unknown Soldier, where they will place wreaths of flowers. They have chosen the Mayflower Hotel for their Washington headquarters.

As the Olympic, on which they are to cross the Atlantic, is scheduled to sail from New York at 10 o'clock on the night of December 20, they will leave Washington on the afternoon of December 19 for New York. Their arrival at London is scheduled for December 26.

Alameda Coots Get 13 to 12 Victory Over Chinese Grid

Special to The Japanese American News

ALAMEDA, Dec. 12—Conversion by a place kick proved to be the deciding factor in the 13 to 12 victory of the Alameda Coots in a game with Oakland Chinese eleven last Sunday at Parlier Field.

The Chinese were heavier players and possessed a strong defense. The Japanese counterbalanced this handicap with superior shiftiness and fighting spirit.

Halfback Sunao Nagai and Imura were responsible for the many thrilling moments in the closely contested game. Takagi was a steady player both in offense and defense. Captain Won Tom starred for the Chinese.

CLARK WILL GIVE TALK

Buddhism Is Topic of Lecture at Fresno YWBA Service

Special to The Japanese American News

FRESNO, Dec. 12—Rev. Dr. Robert Clark, a Buddhist scholar, will give an inspirational address on the subject of "Buddhism and Our Daily Life" on Saturday evening, Dec. 14, at the local Temple. The affair will be under the auspices of the Central California League of the Young Women's Buddhist Association.

Another lecture will be delivered by Dr. Clark on Sunday afternoon, Dec. 15, at the Buddhist Temple, on the subject of "Buddhism and Its Relations to Christianity."

On Saturday night the following program will be observed:

1. Hymn ..... Nirvana
2. Refuge formula ..... Rev. I. Kyogoku
3. Opening Address ..... Mrs. G. Fujiwara
4. Address ..... Rev. R. Clark
5. Hymn ..... Buddhist Doxology
6. Adoration ..... Rev. Kyogoku
7. Closing words ..... Chairman

Dinuba Five Wins From Hanford Boys In Casaba Clash

Special to The Japanese American News

DINUBA, Dec. 12—The Dinuba Japanese basketball team won from the Honford Gakusei-kwai boys, 30 to 14, in one of the games of the lower division of Central California cage league.

For Dinuba H. Mimura and M. Hanada were the high point men. Kaudy Mimura starred at the guard position. Shig Sugimoto was the high scorer for Hanford.

The official league standing up to Dec. 11 follows:

Team	W	L	Pct.
Bakersfield	6	0	1,000
Visalia	4	2	.666
Dinuba	3	3	.500
Kingsburg	3	3	.500
Hanford YMBA	2	4	.333
Hanford G.	0	6	.000

LIVING ON FICTIONS

By GLENN FRANK

I have just read a long and fact-filled report on the fiction output of the current year.

The report had to do with the output of novels during the publishing seasons of the year now coming to a close.

But the novelists are not the main manufacturers of fiction.

We, the people, annually manufacture more fiction—or fictions—than the whole race of novelists could dream in a lifetime.

All of which is but another way of saying that most of our thinking is wish-thinking.

Wish-thinking is, in essence, affecting to believe what we want to believe instead of what may be actually true in the situation at hand.

We create pleasant fictions to take the place of unpleasant facts.

And the way we do it, according to H. A. Overstreet, is by projecting our strong emotions, such as fear and pride and sex, into other persons and into situations.

Strong emotions give rise to strong wishes.

The emotion of fear gives rise to the wish to escape.

The emotion of pride gives rise to the wish to seem great in the eyes of our fellows.

The emotion of sex gives rise to the wish for gratification.

Save the nwe are vigilantly on guard against ourselves, we tend to create a fictitious situation into which our emotions will fit and in which our wish will find fulfillment.

Usually we do things from a medley of mixed motives—whether we are getting married, choosing a profession, joining a political party, enlisting in war, or running for Governor. But in each of these situations most of us manage to shove into the foreground a single and surgically pure motive.

The human animal is at heart a poseur.

It is hard not to be a hypocrite.

It is a fearfully difficult enterprise to live our lives in the light of facts rather than fictions.

And yet sustained health, happiness, and prosperity depend upon our substituting fact for fiction as the basis of thought and action.

A DELIGHTFUL CHRISTMAS GIFT

For Boys or Girls, Young or Old

Organize a harmonica band in your family or in your neighbor-hood and learn the musical possibilities of this new type of Harmonica—Made in Japan

Powerful in tone — Lasting in quality

Price: All keys—$2.50

THE KINO DRUG COMPANY

247 E. 1st Street, Los Angeles, Calif.

Sole Agents for the United States

JAN. 12 DATE SET FOR L. A. YPC PARLEY

Reception, Mass Meet and Banquet Carded By Officers

Special to The Japanese American News

LOS ANGELES, Dec. 12—Selecting for their theme this year the arresting words, "Why Religion?" officers of the Los Angeles conference of the Young People's Christian Federation or Southern California decided to stage their general parley on Jan. 12, probably at the California Christian College.

Under the tentative program formulated by the cabinet last Saturday, the confrence starts at 4:30 p. m. with a reception. At 6:00 p. m. there will be a brilliant banquet, which will be featured by an international program of much color and vivacity.

The main mass meeting, which is the highpoint of the conference, will start at 8 p. m. It is probabl that either Dr. Allen Hunter or James Brower will deliver the principal address.

JUNIOR AND SENIOR CLUB

BIRTHDAYS—11th, Kimiyo Hikido 13th—Ben Oniki.

Change of address: Helen Sakaye Baba (new address) No. Venice Island, Care of C. M. B. Co., Stockton, California

Hele is 12 years old. She asks for more letters. She enjoys the club and is one our most loyal members.

Dear Junior and Senior Editor:

I'm sorry I have not written for such a long time. But I guess I was too busy doing nothing.

How are all the members? I wish to give my best wishes and regards to them.

I wish my father would hurry up and take the paper. I don't get to see it very often. But this evening one of our neighbors brought some and my! how interesting they were. I think every time I read it, it's more interesting than before. I guess I'll start saving some money so I can subscribe for THE JAPANESE AMERICAN NEWS myself.

Wishing Ayano Sumida a happy and lucky and pleasant voyage.

Good bye,

One of your members,

Mitomu Tsutsui, Pharr, Texas.

That is a fine idea, Mitomu. Please write again soon and tell us whether we have your address correctly. On your card we had changed it from "R. F. D. 1, Pharr, Texas" to "Hidalgo, Texas." Which is correct?

Please, will Helene, from Hollister, tell us her last name? All cards are filed by last name. And to get answers for the writers from members we like to print the whole name. Everyone please always write your full name and address every time. Among so many members our memories slip up sometimes, especially as the names are still unfamiliar to your Obasan.

This is the "last call" for special stories, poems and other things that you like to send in for the special New Year Section (printed near the beginning of the year) of this paper and for the special Christmas edition of the WEEKLY. We are to have lots of room for our Section near the New Year. Many of your letters will be printed then.

A joke from Toshi Yano (ever so many thanks for the special note, Toshi) whose letter to the Club will be printed later;

A Frenchman was relating his experiences in learning the English language.

"When I discovered," he said, "that when I was quick I was fast, and that if I was tied I was fast, and that not to eat was to fast, I was discouraged. But when I came across the sentence. 'The first one won one one-dollar prize,' gave up."

Lodi Eleven Will Tackle Tornados in Grid Tussle Sunday

Special to The Japanese American News

LODI, Dec. 12—Having emerged victorious over the touted Tornado eleven last Sunday, the Lodi football team is mapping out its strategy for the game with Florin Japanese team on coming Sunday, Dec. 15, at Florin.

The Tokay squad has so far won two games, one from Walnut Grove Tornados and the other from the Sacramento Chinese eleven.

According to reports, the Florin team has several high school stars from Elk Grove. It is regarded as a team worthy of meeting the Lodi boys.

Teams desiring games with Lodi should communicate with N. Matsumoto, 105 E. Pine street. Lodi.

KOIKE WINS SPORT TITLE

Alameda Japanese Is Only Student to Get Nine Letters

Special to The Japanese American News

ALAMEDA, Dec. 12—Alameda seems to be a home for many promising athletes of Japanese parentage. Yasuharu Koike, latest of Japanese athletes to be given school recognition, was awarded his ninth block letter by Porter School student body recently.

Koike is the only person in the school to receive that number of block letters for outstanding services in the school sports.

Miss Sadako Towata, sister of Cy and Johnny Towata, well known athletes, was also awarded her third letter. She is the only girl to attain this honor.

M. E. TO HEAR GOTO SPEAK AT SERVICE

Youthful Speaker Is Winner of Kato Scholarship

Masaichi Goto, young second generation student at the Pacific School of Religion, will be the main speaker at a special English service to be conducted Sunday evening, Dec. 15, at the local Japanese Methodist Church on Pine street.

Young people from both the local Christian and Reformed churches are extended invitations to this devotional.

Goto is not only a brilliant scholar but also an eloquent speaker. Chosen as the most outstanding second generation student studying for full-time religious service, he was awarded the Rev. Kato Memorial scholarship by the Young People's Christian Federation of Northern California at its recent conference in Berkeley.

EPWORTH MEETING

Miss Esther Heigesson, president of the San Francisco Epworth alliance, will be the main speaker at the Epworth League meeting in the evening. Besides her talk, she will give a reading of a Christmas story.

The Epworth meeting starts at 7:45 p. m. There will be a practice on the Christmas program after the devotional. The morning rehearsal will not be held this week on account of the English service.

CHRISTMAS PROGRAM

Details of the Christmas program were discussed at a special meeting of the Sunday school teachers held Tuesday night at the home of Koshi Suzuki.

Those present were: the Misses Grace Takahashi, Toshi Koba, Toshi Takao, Mary Hasegawa, Yuki Kuwahara, Secil Davies, Viener, and Mr. K. Suzuki.

Final Get-Together

The Friendship Circle of the Church of Christ on Post street held its final get-together dinner of the year last Sunday evening from six o'clock at the main chapel The delicious and enjoyable dinner was opened with Tadashi Fujita's grace. Fred Koba spoke a few words of greeting.

理想的年末贈答品

極上糯米もあります

エンサイン印 加州ブルーローズ米

贈つて……安心
受けて……満足

『エンサイン』印と必ず御指名下さい

—(加州到る處の小賣店にあり)—

RB&Co ENSIGN BRAND

ローゼンバーグ兄弟商會
日本人部代理店

野中商店

桑港フロント街二一四
電話 ダベンポート四七七六七七